

# セント・アンドリュースでプレーして

旭川市医師会  
うすき医院

## 大谷 泰一

2011年にスコットランドのセント・アンドリュース(old course)を回ることができましたが、ここに行くのは簡単ではありませんでした。

昔は、早起きして細長い棚にマイボールを置いた順にプレーできたそうですが（パブリックですから）、今は、数ヵ月前にネット等で予約できることになっていて、私もその開始時刻にすぐ申し込んだのですが、「もう一杯になりました。また来年お願いします」のメッセージが自動返信されてきました。恐らく、旅行代理店等が買い占めているのでしょう。レンタカーを借りていろいろ回りたかったのですが、セント・アンドリュースのHPに出ている旅行会社なら大丈夫だろうと思い、英語でメールのやり取りを始めました。どんな人たちなのか、日本のことをどれだけ知っているのだろうか、知的水準は？とか探りながらメールのやりとりを始めましたが、きちんとしている人たちのようで、むしろ、スコットランドとイングランドは全く違うということを感じさせられました。歴史をみれば当然のことでした。こちらが勉強させられました。とは言うものの、前金支払っていただけだったので、エジンバラ空港に誰もいなかったら…という不安はありました。

当日コースを遠くから見て、まず目についたのが、1番ホール付近にあった細長い100mほどもあるバター練習場でした。最初はテニスコートか、100m走のトラックかと思いましたが、前者にしては中央のネットがなく、後者にしては金網のネットがぎりぎりまで貼ってあって、走り抜けられません。

スタートする前にハンディキャップの証明をスタート小屋で見せませす（男性24以下、女性36以下でないと不可です）。1番ホールはドライバーが良く飛び、残りは90ヤードほど。悪くてもパーかな、と思ったのですが、フェアウェイは非常に硬く、ピッチング・ショットはトップして目の前のクリークへ…同じことを3回繰り返してしまい完全にupsetしてしまった時、一緒に回ることとなったイングランドの弁護士ご夫婦に“Take your time～”と声をかけていただいたのは、本当に嬉しく、ホッとしていつもの自分に戻ることができました。

ここは1552年に開業した世界最古のゴルフコースで、最初は9ホール（アウト）で始まったのが、1865年に故郷に戻ったプロでありグリーンキーパーでもあったトム・モリス・シニアの時に現在の18ホールになったと言われています。イン・コースはア

ウトのすぐ隣に沿って作られたのですが、アウトとインのその二つを分離する木や線もない対面交通、いわゆるダブル・フェアウェイのところもあります。グリーンも隣のホールと共用のことが多く、例えば2番と16番、6番と12番等はダブル・グリーンで、通常のグリーン二つ分ですから、反対グリーンに端に乗せたりすると、50m以上のロングパットを打たなくてはならないところもあります。つまり、お隣のグリーンにボールが転がるいわゆる“打ち込み”になるのですが、キャディは違う組のボールが転がってきてても全く平気でした。また、“狭い”コースなのに「フォアー」という声もあまり聞かれないので、「このキャディは静かだな」と思っていたのは16番ホールまででした。

17番ホールは、ホテルがティー・ショットする範囲にあることで有名なホールですが、キャディは「あのホテルは後から建ったので別に当ててもいいけど、当たって中に入ったりすると後の組に迷惑なので、当てない方が良く、タイガーウッズはあのホテルの上を越えていくんだけど、君は無理そうだから、“ちょっと”左を狙って」と言われて打ったところ、“ちょっと”のつもりが、大きく左に引っかかり、ボールはダブル・フェアウェイ！！で向こうから歩いてくる人めがけ…この時の男性キャディ2人揃っての「フォアー！！！」はすごかった。まるで猛獣のようでした…。

ところで、このグリーンはまさにポテトチップスでダイレクトに“落ちる”とどっちに弾むか誰も分からない。でも私は懲りずにパー“オン”を狙いました…。その点、家内はキャディの指示通りに「こっちの方向に100ヤード」（“こっちの方向”はだいたいピントとは全く関係ない方角でなのですが）と言われ、（ゴルフの時には従順な）家内がその通りに打つと、ボールはコロコロ転がってピン付近へ！何度も見ました。

セント・アンドリュースは、いかにまっすぐ打つか／転がすか＝まっすぐパターを打てるか（フェアウェイが固いので、フェアウェイからパターでも打てるのです！）。スタートにあった100mのパター練習場の意味が、18ホールラウンドして分かりました。楽しいラウンドが終わり、キャディにチップを渡したら、「パターを練習して、また来てくださいね」と言われました…(^\_^;)

